

令和7年2月8日

### 第63号の初校ゲラをご送付します

御作の原稿が編集部から戻ってきました。本誌と同じように印刷されたものが初校です。手書きの方は最初に送ってくださった原稿も同封してありますが、もう編集部では使いませんので、そちらでお納めください。

1. ご自身の作品の点検と校正をお願いします。

原稿はこちらで校正・校閲をひと通り済ませてあります。間違いや変えたい部分があれば、朱筆（赤ペン）で目立つように訂正してください。

ただし、あまり大幅に変えると原稿用紙1枚あたり1,000円の追加料金をいただきます。これは印刷会社に支払う修正料金です。

2. 点検と校正ができたなら校正した初校ゲラだけを2月22日（土）までに編集部へ送ってください。郵便の場合は、XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

3. 今回も手書き原稿の方だけに、返信用封筒を同封しました。パソコンで原稿をくださった方には、返信用封筒を同封しておりません。メールで校正指示をしてくださいますようお願いいたします。画像ファイルで送れる方は、朱筆（赤ペン）を入れた写真を送ってください。

4. もう直すところはない、という場合は郵便やメールでの返送をしていただかなくて構いません。その場合、電話かメールで「直しはありません」とご連絡いただければ幸いです。電話 03-3918-8500 メール me@zhs.jp

5. このあと第2校、第3校と続きますが、これ以降の作業は事務局と編集部が行いますのでお任せください。発行・発送は4月第1週目の予定です。

6. 会員の皆様にお送りするのは2冊ずつ、購読会員には1冊ずつです。

3冊以上をご希望の方は、初校を返送する際などにお知らせください。

1冊 1,200円です。会員は送料・消費税を無料にします。たくさん買ってご友人に随筆春秋を宣伝してください。よろしく申し上げます。

## 諸経費の値上がりに対処する方策について

皆様ご存じの通り、諸般の物価が天井知らずの勢いで値上がりしております。

随筆春秋においても印刷会社、運送会社、郵便料金などの値上げが経営を圧迫しております。何らかの根本的な対策を取らなければ赤字倒産を免れません。

しかし、安易に会費を値上げすることなく、経費の節減を考えております。会員の皆様からも、広くご協力を仰ぎたいと存じます。

現在も有志の方々から「未使用の郵便切手、葉書」「クリヤーホルダー」「封筒、便箋」などの寄贈をいただいております。たいへん助かっておりますので、皆様のお手元に不要なものがございましたら、事務局あてにご送付いただけますとありがたく存じます。

また、事務局の方では、大きな改革として、随筆春秋誌の領布冊数を減らすことを考えております。かつて十年前に、それまで会員お一人に3冊領布していたものを、2冊にさせていただきました。それによってまとまった印刷料金の節約ができました。

そこで第64号（今秋）からの検討事項として、パソコン、スマホを扱える会員の皆様への領布数を1冊に減らし、代わりにPDFで全ページのデータを無料配布させていただこうかと考えております。

PDFでデータをお持ちいただくと、紙本を持ち歩かなくても、好きな時に好きな場所で好きな箇所をお読みいただけますし、ご自分のプリンターで印刷することも可能になります。複数のご家族やご友人にも、気軽に送信して読んでもらうことができます。

データの送信方法は、一般的にはメールですが、ご希望によってはUSBメモリでの納品もできます（ただしUSBメモリの実費はいただきます）。今まで通り紙本での領布をご希望の方には、冊数（2冊）の変更はいたしません。

以上、まだ経営会議の議案に出ている段階ですが、初校ゲラ返送時に、付箋などに記していただき、皆様からのご意見もお聞かせいただければ幸いです。

一般社団法人随筆春秋  
代表理事 池田 元